



子どもたちの心に残る租税教室を！

指宿市立山川中学校にて開催

指宿法人会青年部会

公益社団法人指宿法人会青年部会（倉本哲部会長）は、社会貢献活動の一環として、「地域のため、自らの向上のため、子どもたちの心に残る租税教室を継続すること」を宣言文に掲げ、毎年、地元の中学校を中心に租税教室を開催しています。

今回は、2年間にわたる指宿市立山川中学校における租税教室をご紹介します。

1年目は「生徒参加型疑似体験学習」として、税のある世界とない世界を疑似体験してもらいました。人生ゲーム in アナザーワールドと題し、日常の様々な場面で、税の存在を感じてもらいます。自分たちの生活と「税」をきちんとダブらせることで、「税」に対する考え方が変化していく様子が見られました。

2年目は「生徒参加型想像体験学習」として、いろいろな角度から税金の使われ方をクイズ形式で答えてもらいました。税理士の解説を挟みながら、ただ正解を競うのではなく、税金の重要な役割を理解してもらえよう工夫しました。途中、青年部会員扮する迷？役者による寸劇も披露し、大爆笑。とにかく子供たちを飽きさせま

せん。最後のグループディスカッションでは、スーパーコンピューターの開発費について議論を交わしました。日本の高い教育水準、そして私たちが受けている義務教育も税金で支えられていることを、児童、先生方、青年部会員…皆で考えます。答えはありません。子どもたち一人ひとりが考え、自分の意見を述べることで、それが大事なのです。意欲的に発表する生徒の多さに驚かされ、そして明るい未来を感じさせられました。

私たちが伝えたいこと。それは、税の役割を理解し、税の重要性を知ってもらうこと。

それだけにとどまらず、次代を担う子どもたちに、強い意志と大きな夢をもって前に進んで欲しい。さらに、その歩んでいく過程で、どれだけ多くのものに、支えられ助けられているかを知って欲しい。

伝えることの大切さ。教えることの難しさ。私たちも一緒に考え、これからも、子どもたちの笑顔がいっぱいの租税教室を継続してまいります。

※この活動は、2014年11月に開催される全国青年の集い秋田大会にて南九州代表として事例発表することとなっています。

